



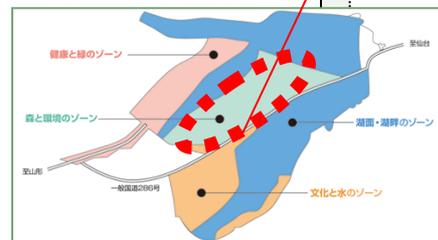
みちのく森の楽校だより 第5回

みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

里山地区



8月23日(土) 晴れ 夏の終わり、猛暑の中の活動です！

森の楽校の第5回は、8月の末とは言え、猛暑でした。学校によってはもうじき夏休みが終わりですね。活動の中心は、長らく作ってきた園路名称サインの建て込み！2班に分かれて建て込みました。園路に名前がついて、わかりやすくなりましたよ！

午後は、これからの活動場所になる「あかまつだいら」の下見。夢が広がりました。

プランター畑の野菜の収穫！

小野分校裏に小さなプランター畑を作っています。この畑がすばらしい出来なのです。その秘密は、自然共生園の農の指導員の方にいただいた土なのです！ナス、キュウリ、ピーマン、トマト。どれも生き生きとしています。

子供たちが収穫して、今日は「新鮮！夏野菜のカレー」づくりをしました。



飯盒炊飯とカレーづくり

ご飯は飯盒炊飯。もうこれは慣れたもの。火起こし、水加減も子供たちにお任せあれ！わざと焦がしてみたり…。

° 収穫したばかりの夏野菜いっぱいのカレー、大きくなりすぎた「お化けキュウリ」は煮ものにしました。野菜たっぷりです。



かき氷

前回同様、お八つはかき氷。シロップは春に里山で収穫したグミの実を砂糖漬けにしておいしたもの。

夏の名残を楽しみました。



園路名称サインの建て込み

前回の活動でもサインの建て込みをしましたが、まだまだあります。

園路は次の8本があります。それぞれに2本ずつのサインを建てます。

- 三作の馬道
- 下三作の里道
- 上三作の里道
- 杣の尾根道
- 社の里道
- 愛宕の参道
- ししの尾根道
- やまっぱたけの道

その他、「森の楽校」への誘導サイン、「行き止まり」の注意サインが必要です。今日の活動では完成はしませんでした。追々、建て込んでいきます。みなさま、里山を散策しながら見つけてくださいね！



園路名称サインづくり

作らなくてはいけないサインはまだあるので、制作活動もしました。文字を彫り込み、やすりをかけて、防腐剤を塗って、組み立て、手順もすっかり身に付きました。



里山冒険遊び

夏休みのため、仙台のおばあちゃんの家遊びに来た家族連れが、森の楽校に遊びに来てくれました。



「あかまちだいら」

「森の楽校」は小さく、落ち着いた守られたような空間です。

「森の楽校」から「杣の尾根道」を挟んだ台地に「あかまつだいら」があります。ここは去年の夏にはアズマネザサがびっしり生えていましたが、ボランティアが何回も何回も刈り払いをして、人が入れるようになりました。

ここは風が通り抜ける開放的な空間です。



2013年8月



2014年8月

ここを新たな活動拠点にして、これから、デッキや小さなツリーハウスなどを作っていきます。今日は下見をして、みんな夢を語り合いました。

